令和3年度 教育研究委員会活動方針

R3.5.8 教育研究委員会(報告)

1 基本方針 (R2)

「主体的・対話的で深い学び」の実施に向けて,「授業改善」と「評価の改善」について,研究を 進める。

「広島版『学びの変革』アクション・プラン」を踏まえ、H33 年度からの新学習指導要領の全面実施に向けて、指導と評価のあり方及び学力の定着と向上に向けた具体的な取組方策について研究を進める。

2 重点目標 (R2)

- (1)「指導と評価の一体化」について、調査・研究を進める。
- (2) 主体的・対話的で深い学びを創り出すための授業改善等の在り方について調査・研究を進める。

3 活動内容 (R2)

- (1) 指導に生かせ、生徒の成長につながる評価の在り方についての調査、分析、報告
- (2) 主体的・対話的で深い学びを創造するための授業改善等の在り方及び深い学びの創造についての調査・研究
- (3) 提言書の作成
- (4) 指導講話(広島県教育委員会教育部義務教育指導課 主任指導主事 小池 紘太郎)

4 活動計画

- 11	130円四						
口	月日	研修・活動					
1	5月7日	・全体研修(研究集録の評価について 広島県教育委員会指導講話)					
	(金)	・前年度の活動報告,今後の課題と活動方針					
	10:30~	・委員長,副委員長選出 ・活動方針,活動内容,活動計画等(案作成)					
2	6月30日	[評価部会]					
		・研修を踏まえてのアンケート調査質問内容検討					
	(水)	・調査対象の情報収集及び体制づくり (データの分析方法等)					
	10:30~	〔学力部会〕					
		・「主体的な学び」を実現する授業研究に関するアンケート調査					
		・先進校の取組(実践事例)の把握					
3		〔評価部会〕					
	8月27日	・新学習指導要領に対応した評価の実態と課題について					
	(金)	〔学力部会〕					
	\ <u> </u>	・「主体的な学び」を実現する授業研究に関するアンケート					
	10:30~	・次年度以降の研修に係る調査研究について					
		※研修(広島県教育委員会講話及び質疑応答)					
4		〔評価部会〕					
	11月5日	・アンケート集計結果の分析・考察					
	(金)	・次年度以降の研修に係る調査研究について					
	,	〔学力部会〕					
	10:30~	・アンケート集計結果の分析・考察					
		・次年度以降の研修に係る調査研究について					
5		・研究収録の内容検討及び作成					
	1月12日	・令和3年度のまとめ					
	・令和4年度の基本方針,活動内容,活動計画書の原案作成						
	10:30~						

5 委員名簿

	71 P	N/C [_ _ _ _ _	т ь	→	/+++v
	郡市	学校名	氏 名	部会	備考
1	広 島	_	_		
2	竹・廿	玖 波	① 渡部 智子	評価	県公連
3	识	豊浜	② 勝村 昌史	評価	
4	安・江	(竹・廿)	_		
5	東広島	黒 瀬	③ 三原 隆行	学力	委員長 県公連
6	山県	(三次)	_		
7	安芸高田	(庄原)	_		
8	豊・竹	(東広島)	_		
9	尾道	因 北	④ 角谷 真司	学力	
10	三原	第一	⑤ 福本 和雄	評価	
11	世・府・神	甲山	⑥ 福光 裕次	学力	
12	福山	東朋	⑦ 小畠 範雄	学力	副委員長 県公連
		神辺	⑧ 西川 紫	評価	副委員長 県公連
13	三次	吉 舎	⑨ 名越 隆樹	評価	
14	庄原	口和	⑩ 大里 康暁	学力	
本県部中	副会長	鷹取	藤田由美子		
	幹事	野 坂	谷川 清二		

[※] 副委員長 2名 , 県公連委員 4名

6 本年度の研究の方向性

【評価部会】

- 令和2年度末の評価・評定の実態調査
- 学習指導要領改訂に伴う,学習評価に係る研修の実態調査
- 「主体的に学びに向かう姿勢」の評価材・評価方法に係る調査
- 定期テスト等の在り方について

【学力部会】

○ 「主体的・対話的で深い学び」のイメージ共有及び実現について、好事例を探るアンケート調査

※必要な課題にポイントをしぼり、それぞれの学校からできるだけ生の声(困り感や成功例) を引き出し、見て参考になる研究集録にまとめるために、アンケートを活用し、分析・集約していく。